

株主・投資家の皆さまとともに



公平性と透明性を維持し、説明責任を果たす

日産の投資家向け広報(IR^{*})の活動は、株主の皆さまとのコミュニケーションを重視しながら、信頼され、期待されるIR施策を実践していくことです。そのため、つねに経営の現実を直視して、公平で透明な情報開示の継続を心がけています。日産にとって良いニュースも悪いニュースも、株主の皆さまにとっては、すべて価値のある情報だと考えています。

日産が描くIRのミッションは、積極的なIR活動を通じて株主や投資家の皆さまとの間に揺るぎないトラスト(信頼)を築き上げることです。今後も株主や投資家の皆さまの期待を担い、より良好なコミュニケーションをとり、信頼に答えていきたいと考えています。

※IR:インベスターリレーションズの略。株主・投資家向け広報

期経営計画「日産バリューアップ」を紹介。トップレベルの売上高営業利益率、2008年度にグローバル販売420万台、投下資本利益率3年間平均20%以上という3つの目標を宣言して、株主の皆さまにさらなる成長を約束しました。

また、2004年に公表した「日産バリューアップ」期間における配当計画—1株当たりの年間配当を2005年度に29円、2006年度に34円、2007年度に40円以上とする—をあらためて示しました。

総会後には経営層が出席する懇談会を実施し、株主の皆さまとオープンで活発な意見交換を行いました。

参加者は前年度比48%増に

日産発祥の地で開催した株主総会と中期経営計画「日産バリューアップ」

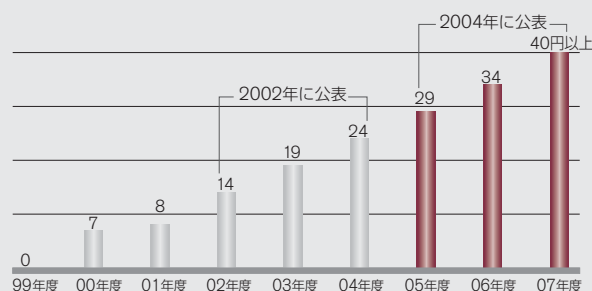
2005年6月に行われた日産自動車(株)の株主総会は、会場を東京から日産発祥の地である横浜に移し、前年度比48%増の1,835名もの株主の皆さまに出席いただきました。総会では2005年度から2007年度までの3カ年で達成を期す中

決算情報の開示方法を改善

グローバル本社で一元管理され、世界に同時発信される決算発表

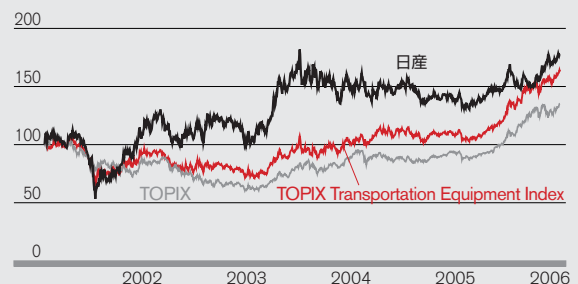
世界160カ国以上に販売ネットワークを持つ日産には、決算の情報開示においても、グローバルレベルでの公平性と透明性が求められています。決算発表では、CEO(最高経営責任者)が1時間ほど決算概要を説明し、その模様は電話会議システムを通じて世界のアナリストに発信され、リアルタイムに質疑応答を行っています。2005年4月の決算発

●配当計画の公表(円/株)



●過去5年間の株価パフォーマンス

(インデックス: 2001年3月30日=100)



「女性のための投資フォーラム」
(日本)



株主の皆さまとの懇談会
(日本)



表時から、CEOからの決算概要説明後に、株主の皆さまに伝わる情報のクオリティを向上させるために、IR担当者がより詳細な決算情報をアナリストに説明する時間を設けました。

日産では、開示される情報が特定のエリアや特定の立場のステークホルダーに偏らないよう、決算情報は日本の本社で一元管理しています。日本以外の投資家の皆さまに対しては、IRチームの担当者が、直接現地を訪問しミーティングを実施しています。たとえば、決算発表後の約1ヵ月の間にロサンゼルス、サンフランシスコ、ニューヨーク、シンガポール、ロンドン、パリなどを訪問し、投資家の皆さまと直接コミュニケーションをとりながら、詳しい決算情報を伝えています。

配当政策を分かりやすく具体的に説明
個人投資家を対象にした投資フォーラムに参画

近年、個人の方が株式投資を行う機会が増え、日産の株式を所有されている個人株主数も増加しています。2001年度に11万4,000人だった日産の個人株主数は一貫して上昇

し続け、2005年度には対前年度比14%増の21万8,000人を数えるようになりました。

とくに女性の投資家の皆さまから自動車産業に大きな関心を頂くようになりました。そのため、IRチームでは大手証券会社主催の「女性のための投資フォーラム」と題した株式説明会に参画するなど、積極的にバックアップしています。

2005年9月に開催した同フォーラムでは、1日2回のセッションに対し、約480人の個人投資家の皆さまに参加いただきました。フォーラムのテーマを「持続する成長と魅力ある配当政策」とし、日産の成長の足跡や自動車業界における日産の位置づけ、将来の新車投入計画などを紹介。さらに、日産の配当政策を理解していただくために、「日産株配当シミュレーション」を使って説明をしています。たとえば現在手もとに約12万円の現金を持っている場合、日産株を購入すると2005年3月から2008年3月までにいくらの株式配当金を受け取ることができるか、一方、そのほかの資産運用をした場合、運用益はいくらになるかなど、具体的な金額や金利と比較し、日産株の配当金額イメージを紹介しました。

なお、2006年1月に日産は、東京証券取引所から個人株主数を大幅に増やし、証券市場の裾野の拡大に貢献したことが評価され、「第4回個人株主拡大表彰」に選定されました。

Messages for Our Stakeholders



日産自動車(株)
執行役員(IR部、財務部担当)
田川 文二

情報開示を強化し、信頼されるIR活動を行っていきます

日産の株に関心をお持ちの方々には、近年多くなった女性の投資家の方をはじめ、さまざまな方がいらっしゃいます。私たちIRチームは、機関投資家のみならず、多様化する個人株主の皆さまにも高い満足感を得ていただくことが、非常に重要であると考えています。

そのためにIR施策として重要視しているのが、株価収益率(PER)という指標です。これは日産が達成しようとしている利益に対して、株主の皆さまがどれだけ期待して株式を購入いただいているかを示す数値です。このPERに表れている期

待にお応えするためには、収益を高めることはもちろん、IRチームとしては、さらにそれを株主の皆さまに伝えるために、情報公開の透明性と公平性を高めていきたいと考えています。また決算結果ばかりでなく、技術や製品など、日産の基本的な情報についても開示していく計画です。

情報開示を強化し、さまざまな機会を通じ、株主の皆さまに日産の経営を正しくご理解、ご納得いただけるような信頼されるIR活動を行っていきたくと思っています。